

MTVGA シリーズ

Installation Guide

V2.1J

canopus

ご使用の前に

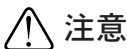
■絵表示について

本製品を安全に正しくお使いいただくために、以下の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

人が死亡または重傷を負う恐れのある内容を示しています。



注意

けがをしたり財産に損害を受ける恐れのある内容を示しています。



この記号はしてはいけないことを表しています。



この記号はしなければならないことを表しています。



この記号は気をつける必要があることを表しています。

■ご購入製品を使用される際の注意事項

ここでは、ご購入製品を使用されるときにご注意いただきたい事柄について説明しています。ご使用方法や、この内容について不明な点、疑問点などがございましたら、カノーブス株式会社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

カノーブス株式会社

〒651-2241

神戸市西区室谷1-2-2

テクニカルサポート

TEL. 078-992-6830

土日祝日および当社指定休日を除く月～金

10:00～12:00、13:00～17:00



警告



●製品のご利用についての注意事項

医療機器や人命に関わるシステムでは、絶対にご利用にならないでください。製品の性質上、これらのシステムへの導入は適しません。



●製品の取り付けおよび取り外しに関する注意事項

製品の取り付けおよび取り外しを行う場合必ずパソコン本体および周辺機器の電源を切り、さらに電源ケーブルをコンセントから抜いた状態で行ってください。

パソコン本体および周辺機器の電源を入れたまま製品を取り付けたり取り外したりした場合、製品やパソコン本体、周辺機器および周辺機器に接続されている機器の一部が破壊される恐れがあります。また、パソコン本体および周辺機器の電源ケーブルをコンセントから抜かずにパソコン本体や周辺機器の筐体(電源ユニットなど)、機器の金属部分に触れた場合には感電する恐れがあります。



●静電気に関する注意事項

製品に静電気が流れると製品上の部品が破壊される恐れがあります。各コネクタや部品面には直接手を触れないでください。

静電気は衣服や人体からも発生します。製品に触れる前に、一旦接地された金属製のものに触れてください(体内の静電気を放電することになります)。



注意



●消費電流に関する注意事項

複数の拡張ボードをパソコンに取り付けるときは、ご購入製品を含めたすべての製品の消費電流の合計がパソコンの最大供給電流を超えないことを必ず確認してください。全ボードの消費電流の合計がパソコンの最大供給電流を超えたりするなどの動作条件を満たさない環境で使用し続けると、システムが正常に動作しない場合やシステムに負荷がかかり、パソコンが故障する原因となる恐れがあります。

消費電流のわからない製品については、その製品の取扱説明書をご覧ください。メーカーに直接お問い合わせいただいてお確かめください。



●他社製品と併用されるとき注意事項

他社製品と併用されるとご購入製品が正常に動作しないことがあり、そのためにシステムが本来の目的を達成することができないこともあります。あらかじめ、製品単体の環境で購入製品が正常に動作することをご確認ください。また、他社製品との併用によって購入製品が正常に動作しないのであれば、その他社製品と購入製品との併用はお止めください。



●その他の注意事項

製品は指定された位置に指示通り取り付けてください。指示通りに取り付けられていない場合、製品の金属部分とパソコンの金属部分が接触してショートするなどの要因で、製品やパソコン本体・周辺機器が破壊される恐れがあります。

製品を取り扱うときは手など皮膚を傷つけないよう十分にご注意ください。ハードウェアの仕様上、製品のパネル、コネクタ、エッジ、裏面は金属のピンが、突出していることがあります。製品を取り付けたり取り外したりするときは、製品全体を軽く包み込むようにお持ちください。

動作中の製品は熱により非常に熱くなります。長時間使用した製品に手を触れる際には、十分にご注意ください。



表記について

- 本書に記載されていない情報が記載される場合がありますので、ディスクに添付のテキストファイル・オンラインマニュアルも必ずお読みください。
- 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- 本書はパソコンの基本的な操作を行うことができる方を対象に書れています。特に記載の無い操作については、一般的なパソコンの操作と同じように行ってください。
- 本書ではMicrosoft® Windows® XP operating systemをWindows XP(Home EditionおよびProfessionalの総称)と表記します。
- 説明の便宜上、実際の製品とイラストおよび画面写真が異なる場合があります。



ご注意

- (1) 本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
- (2) 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
- (3) 本製品は内容について万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きの事がございましたら、当社までご連絡ください。
- (4) 運用した結果については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- (5) ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
- (6) 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁じます。
- (7) カノープス、CANOPUS/カノープスおよびそのロゴは、カノープス株式会社の登録商標です。
- (8) MTVGAシリーズは、カノープス株式会社の商標です。
- (9) Microsoft、Windowsは米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。また、その他の商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。
- (10) Intel、Pentiumは米国インテル社の登録商標です。
- (11) NeroはAhead Software AG社の商標、または登録商標です。
- (12) DivX、DivX商標および関連するロゴはDivXNetworks社の商標であり、許可を得て使用しています。
- (13) ATIIはATI Technologies Inc.社の登録商標です。



警告

- 健康上のご注意
ごくまれに、コンピュータのモニタに表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的にでんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでになされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあたられる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

MTVGA シリーズ
Installation Guide
Version 2.1J

March 30,2005

Copyright © 2004-2005 Canopus Co., Ltd.
All rights reserved.

目次

1. はじめに	7
使用許諾契約書について	7
ご使用に当たっての留意事項	7
パッケージ内容の確認	7
■ MTVGA シリーズ同梱物	8
当社ホームページ	8
製品のお問い合わせ窓口について	9
2. 動作環境の確認	10
パソコン本体について	10
■ 必要動作環境	10
対応 OS 環境	11
3. 装着とセットアップ	12
ボードの装着	12
インストール	14
インストール後の確認	19
MTVGA 9600XT SE/MTVGA 9550L とテレビを接続する場合	20
DVI - コンポーネント形状変換アダプタの設定	21
映像フォーマットの設定	21
■ D 端子と映像フォーマット	21
D1 フォーマット対応のテレビに接続する場合	22
D2 フォーマット対応のテレビに接続する場合	23
D3 フォーマット対応のテレビに接続する場合	24
D4 フォーマット対応のテレビに接続する場合	25
MTVGA X800XL とテレビを接続する場合	26
MTVGA X800XL のケーブルを使用してテレビに接続する場合	27
アンインストール	28
4. FEATHER2005 について	29
FEATHER2005 を起動する	30
FEATHER2005 を終了する	31
5. MTVX があればこんなことができる！	32
■ MTVGA 専用プログレッシブ表示モード	32
6. NeroVision Express 2 の操作方法	33
ユーザズガイド (PDF 形式)	33
ヘルプ	34

7. MTVGA シリーズとテレビを接続する	35
マルチモニタ設定を行う	35
画面の解像度を選択する	37
解像度をカスタム設定しテレビに表示する	38
8. MTVGA シリーズのマルチモニタについて	44
2 台のモニタを接続する	44
■クローンモード	44
■マルチモニタモード	44
アンダースキャンとオーバースキャン	44
■アンダースキャン	44
■オーバースキャン	44
テレビ出力の設定	45
D 端子 (HDTV) 出力の設定	45
9. ATI のユーティリティについて	46
ATI のユーティリティを起動する	46
■設定メニュー	46
ATI のユーティリティからヘルプを見る	47
10. 仕様	48
■ MTVGA 9600XT SE/MTVGA 9550L/MTVGA X800XL の仕様	48

[illegible]

使用許諾契約書について

当社製品をご購入いただき、ありがとうございます。本製品をお使いいただくにあたって、まずはじめに CD-ROM に収録されている『Support Service Manual』のソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。本製品に付属のソフトウェアをご利用いただくには、この使用許諾契約書の内容にご同意いただく必要があります。この使用許諾契約にご同意いただけない場合や、ご不明な点がございましたら、本書以外のパッケージを開封せずに下記カスタマーサポートまで書面にてご連絡ください。このソフトウェア使用許諾契約は、お客様が『ディスクが入っている封筒』を開封された時点で内容にご同意いただいたものとさせていただきます。

カノープス カスタマーサポート

〒651-2241 神戸市西区室谷1-2-2 カノープス株式会社

ご使用に当たっての留意事項

ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。

製品本来の使用目的および当社が提供を行っている使用環境以外での動作は保証いたしかねます。

CPUなどを定格外でご使用の場合、本製品の動作保証は一切いたしかねます。

パッケージ内容の確認

本製品のパッケージの中に次頁の付属品が入っていることを確認してください。製品の同梱には万全を期しておりますが、万一不足しているものがありましたら、下記カスタマーサポートまでご連絡ください。

カノーブス カスタマーサポート

電話：078-992-5846(※月曜～金曜 10:00～12:00/13:00～17:00 土日祝日および当社指定休日を除く)

■ MTVGA シリーズ同梱物

製品により同梱物が異なります。以下の表を参照の上、同梱物を確認してください。

同梱物 \ 製品名	MTVGA 9600XT SE	MTVGA 9550L	MTVGA X800XL
ボード本体	○	○	○
DVI-RGB 形状変換アダプタ	○	×	○
DVI-コンポーネント形状変換アダプタ	○	○	×
7ピッチDVI-コンポーネント変換ケーブル	×	×	○
S/ コンボジット 2 股ケーブル	○	○	○
ディスク	○	○	○
マニュアル	○	○	○
ユーザー登録カード	○	○	○

※ ユーザー登録カードについて

本製品のユーザーサポートは登録ユーザー様を対象としております。サポートをお受けいただくために、ユーザー登録を行ってください。ご登録されていない場合はユーザーサポートをお受けいただけません。当社よりご提供させていただいているサービスについては、CD-ROMに収録されている『Support Service Manual』をご覧ください(Support Service Manual をご覧いただくには、Adobe Reader が必要となります)。

ユーザー登録カードの各項目に必要な事項を記入し、ユーザー控えの部分を切り離して切手を貼らずにポストへ投函してください。切り離れたユーザー控えは、ご購入された製品の所有者であることを証明するものにもなりますので、本書と併せて大切に保管してください。また、本製品は当社ホームページにおいてオンラインユーザー登録も承っております。

詳しくは、『Support Service Manual』およびオンラインユーザー登録ページ(<http://www.canopus.co.jp/tech/regist.htm>)をご覧ください。

注意！

「NeroVision Express 2」については、当社ではサポートしておりません。「NeroVision 2」へのお問い合わせは、「製品のお問い合わせ窓口について」をご覧ください。

当社ホームページ

本製品をはじめとする当社最新情報をホームページ(<http://www.canopus.co.jp>)にて発信しています。当社製品の最新ドライバ、ユーティリティ、アプリケーション、製品マニュアル(PDF 形式)、FAQなどを公開しておりますので、当社ホームページに是非アクセスいただき、快適なパソコン環境を実現してください。

製品のお問い合わせ窓口について

本製品のお問い合わせは、下記の窓口にて受け付けております。電話番号はお間違えないようにおかけください。

● テクニカルサポート窓口

〒 651-2241 神戸市西区室谷 1-2-2

カノープス株式会社 テクニカルサポート宛

TEL. 078-992-6830

<http://www.canopus.co.jp/mail>

10:00 ~ 12:00/13:00 ~ 17:00(土日祝日、当社指定休日を除く)

※製品の使用方法など技術的相談に関するご質問承り窓口です。

● カスタマーサポート窓口

TEL. 078-992-5846

<http://www.canopus.co.jp/info>

10:00 ~ 12:00/13:00 ~ 17:00(土日祝日、当社指定休日を除く)

※ユーザー登録のご確認や保守部品に関するご質問承り窓口です。

● サポート&サービス[FAQ]ページ

<http://www.canopus.co.jp/tech/faq/faq.htm>

● 「NeroVision Express 2」のお問い合わせについて

「NeroVision Express 2」についてのお問い合わせは、下記窓口にて承っております。カノープス株式会社 カスタマーサポートおよびテクニカルサポートでは「NeroVision Express 2」についてサポートをお受けいただけません。

○ 問い合わせ先名：ライブドアサポートセンター

E-mail : nero@pro-g.com

電話 : 03-5468-0353

[電話サポートの受付日時]

受付日 : 土日祝日(年末年始、夏期)、指定休日を除く平日

受付時間 : 10:00 ~ 13:30/14:30 ~ 18:00

[illegible]

本製品をお使いいただく前に、MTVGAシリーズを装着してお使いいただけるパソコン
本体環境を確認してください。

パソコン本体について

以下の条件を満たしている場合でもパソコン本体の問題によって正常に動作しない場合があります。以下に書かれている条件を満たしているすべてのパソコンでの動作を保証しているものではありません。

■ 必要動作環境

本製品をお使いいただくために最低限必要な環境で、この環境では付属ソフトウェアが動作しない場合があります。

- ☐
- MTVGA 9600XT SE、MTVGA 9550L

- ・ 接続に AGP (x4/x8) バススロットを 1 つ使用

- ☐
- MTVGA X800XL

- 空き PCI Express x16 バススロットを1つ使用

- ☐ 共通動作環境

- | | |
|---------------|------------------------------|
| ・ CPU | Intel Pentium III 1GHz 以上 |
| ・ CD-ROM | ソフトウェアのインストールに必要 |
| ・ メモリ | 128MB 以上 (256MB 以上を推奨) |
| ・ ハードディスク | 200MB の空き容量 |
| ・ DirectX | DirectX9. 0b (添付 CD-ROM に付属) |
| ・ インターネット接続環境 | ユーザー登録、ソフトウェアのアップデートに必要 |

- ☐
- NeroVision Express 2動作環境

- ・ 対応 DVD ドライブ、メディア DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW
(DVD 再生に DVD ドライブが必要、
(DVD 作成に書き込み型ドライブとメディア
が必要)
- ・ ハードディスク DVD 作成時に 10GB 以上の空き容量が必要

※ MTVGA シリーズすべての機能を使用するには NeroVision Express 2 のインストールが必要です。

□ 組み合わせ使用例

- MTVX シリーズとの併用

FEATHER2005で再生した映像、TV番組を本製品でTV出力することが可能。

※ MTV シリーズには対応していません。

- 対応製品 MTVX2005 シリーズ、
MTVX2004 シリーズ

※ 併用するMTVXシリーズが動作する環境が必要

- CRM2005/2004 との併用

本製品付属のFEATHER2005のリモコン操作が可能

※ CRM2005/2004 が動作する環境が必要

対応 OS 環境

- Microsoft Windows XP Home Edition 日本語版(サービスパック 1 以降)

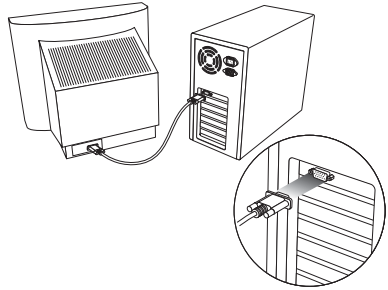
※ サービスパック 2 以降を推奨。

- Microsoft Windows XP Professional 日本語版(サービスパック 1 以降)

※ サービスパック 2 以降を推奨。

2

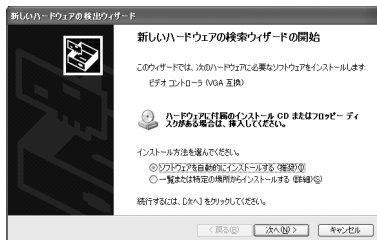
パソコンのカバーを閉じ、電源ケーブルとモニターケーブルを接続してください。



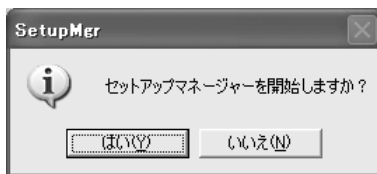
インストール



ボード装着後にパソコンを起動するとハードウェアウィザードが起動しますので、[キャンセル]をクリックしてください。



MTVGA Series インストール CD を CD-ROMドライブにセットするとCD-ROMが開きます。[SetupMgr.exe]をダブルクリックすると右のダイアログが表示されますので[はい]をクリックしてください。



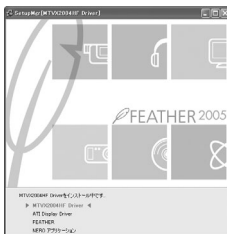
※ CD-ROMが自動起動しない場合は[スタート]メニューから[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[エクスプローラ]を選択して『エクスプローラ』を起動し、CD-ROMを挿入したドライブを選択してください。



DirectX9.0がインストールされていない環境では以下のダイアログが表示されます。以下のダイアログが表示された場合は、MTVGA SeriesインストールCD内の[TOOLS]フォルダ→[DirectX9.0b]フォルダから[dxsetup.exe]をダブルクリックしてください。



インストール時には以下の画面が表示されます。



インストール中にこの画面を閉じるとインストール作業を中止してしまいますので、すべての作業が完了するまで画面を閉じないようにしてください。



MTVXボードが装着されている環境では、ここでドライバのアップデートを行います。

3

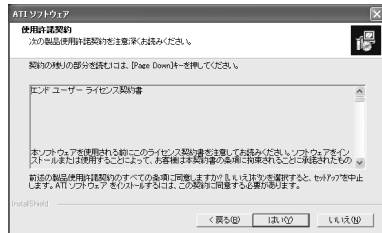
[次へ]をクリックしてください。



4

使用許諾契約が表示されます。内容をよくお読みの上、同意される場合は[はい]をクリックしてください。

- ※ 使用許諾契約に同意されない場合は[いいえ]をクリックしてください。
- ※ 使用許諾契約に同意されない場合、本製品はお使いいただけません。

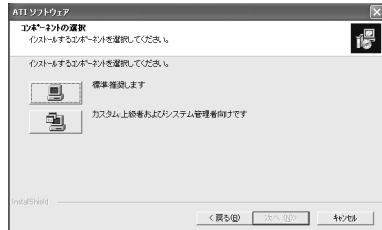


5

[標準：推奨します]をクリックしてください。

→ インストールを開始します。

- ※ [カスタム：上級者およびシステム管理者向けです]を選択すると、インストールする項目を個別に選択することができ、[HYDRVISION Complete Edition]のインストールが可能となります。([標準：推奨します]を選択した場合は[HYDRVISION Complete Edition]はインストールされません)。
- ※ [HYDRVISION Complete Edition]をインストールすると、画面表示に関する各種設定やショートカットの割付等が行えるようになります。



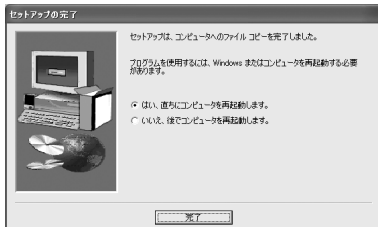
ATコントロールパネルのインストールを設定する間しばらくお待ちください。数分がかかります。

また、ドライバのインストールはご使用の環境により多少時間がかかる場合があります。

6

「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」にチェックを付け「完了」をクリックしてください。

→ コンピュータが再起動します。



7

コンピュータの再起動後、右の画面が表示されます。MTVGA シリーズのシリアル番号(数字 6 桁 - 英数字 16 桁)を入力し「次へ」をクリックしてください。



8

「次へ」をクリックしてください。

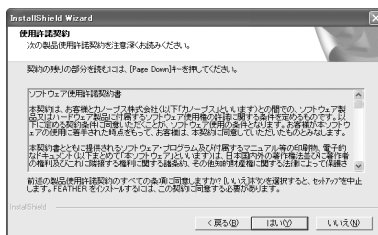


9

使用許諾契約が表示されます。内容をよくお読みの上、同意される場合は「はい」をクリックしてください。

※ 使用許諾契約に同意されない場合は「いいえ」をクリックしてください。

※ 使用許諾契約に同意されない場合、本製品はお使いいただけません。



10

「次へ」をクリックしてください。

※ インストール先のフォルダを変更する場合は「参照」をクリックし、フォルダを指定してください。



11

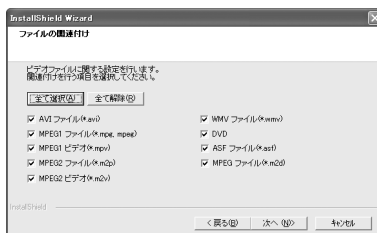
[次へ]をクリックしてください。



12

FEATHER2005 で関連付けを行う項目を選択し[次へ]をクリックしてください。

※ 選択可能な項目は、お使いの環境により異なります。



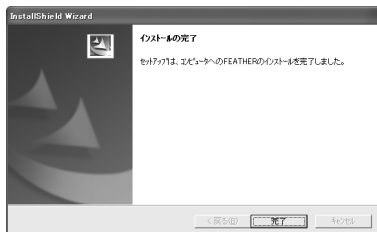
13

デスクトップにショートカットを作成する場合はチェックを付け、[次へ]をクリックしてください。



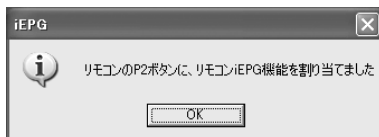
14

[完了]をクリックしてください。

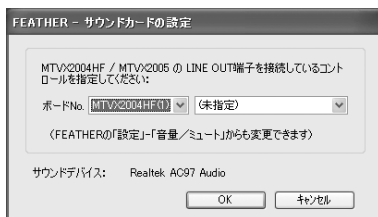


15

[OK] をクリックしてください。



以下の画面が表示された場合はご使用の環境にあわせてサウンドカードの設定を行ってください(画面はMTVX2004HFの場合)。



16

[ファイルタイプ] 欄の各項目に入っているチェックをすべて外してから [次へ] をクリックしてください。



17

[OK] をクリックしてください。
→ 以上でインストールは完了です。

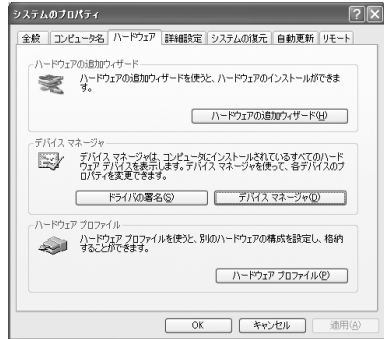


インストール後の確認

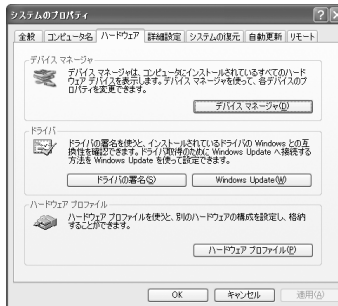
MTVGA シリーズが正しくインストールされているか確認します。



[スタート]メニュー→[マイコンピュータ]上で右クリックし[プロパティ]を選択し、「システムのプロパティ」ダイアログの[ハードウェア]タブをクリックし[デバイスマネージャ]を選択してください。



Windows XP Service Pack2がインストールされている環境では[システムのプロパティ]画面が以下のように表示されます。



[ディスプレイアダプタ]をクリックし[Radeon XXX]が表示されていることを確認してください。

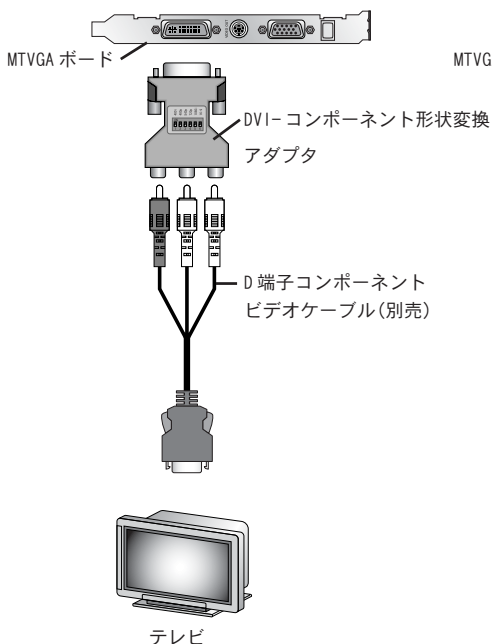
- ※ ご使用の製品により表示内容は異なります。
※ 右図はMTVGA 9600XT SEでの使用例です。



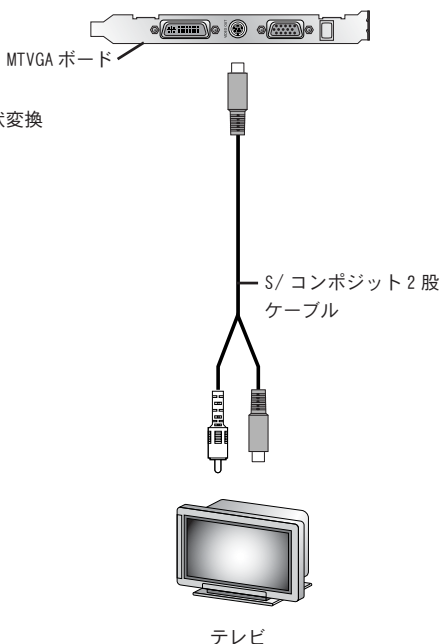
MTVGA 9600XT SE/MTVGA 9550L とテレビを接続する場合

MTVGA9600 XT SE/MTVGA 9550L 背面の端子とテレビを接続する場合は以下の図を参照して接続を行ってください。

● DVI 端子で接続する場合



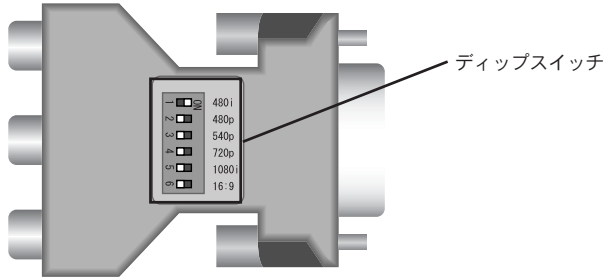
● コンポジット、もしくはS端子で接続する場合



MTVGA シリーズのマルチモニタについてはp. 44を参照してください。

DVI- コンポーネント形状変換アダプタの設定

MTVGA シリーズの DVI-I 端子とテレビ等を接続する場合は、DVI- コンポーネント形状変換アダプタのディップスイッチを、接続するテレビの映像フォーマットに設定する必要があります。



スイッチを DVI 端子側へ動かすと、設定が ON になります。

- ※ 上図にて、スイッチ部の白色がスイッチのつまみとなります。
- ※ 16 : 9 を選択するとディスプレイはワイドスクリーンモードに対応します。
- ※ 540p は使用できません。



ディップスイッチは、使用するテレビの映像フォーマットにあったスイッチのみを ON にしてください。

映像フォーマットの設定

D 端子の規格は、使用する機器によって扱える信号の種類が異なります。MTVGA シリーズ背面の DVI-I 端子とテレビ等を接続する場合は以下の表を参照し、ご使用になるテレビに合わせたフォーマットの設定を行ってください。

■ D 端子と映像フォーマット

規格	480i	480p	1080i	720p	1080p
D1 端子	○	×	×	×	×
D2 端子	○	○	×	×	×
D3 端子	○	○	○	×	×
D4 端子	○	○	○	○	×

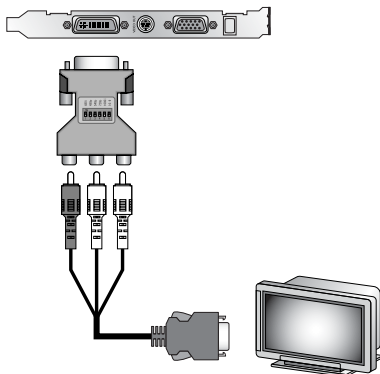
※ 「i」はインターレース方式、「p」はプログレッシブ方式を示しています。

D1 フォーマット対応のテレビに接続する場合

D1 フォーマットに対応したテレビに接続する場合は、以下の設定を行ってください。

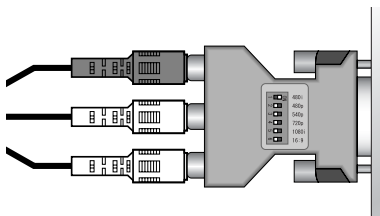


MTVGA 背面 DVI 端子と D1 フォーマットに対応したテレビを接続してください。



DVI-コンポーネント形状変換アダプタのディップスイッチの『480i』を ON にしてください。

※ 右図にてスイッチ部の白色がスイッチのつまみとなります。



解像度を 640x432 に設定します。p. 35～を参照して解像度の設定を行ってください。



パソコンの映像をテレビに表示すると、画面に表示されない部分が出てきます。D 端子のプロパティ (p. 41の手順9) 画面上で[最適化されたフォーマット]にチェックをつけると、画面の解像度が5～10%小さくなり、画面をほぼ全体表示することが可能となります。



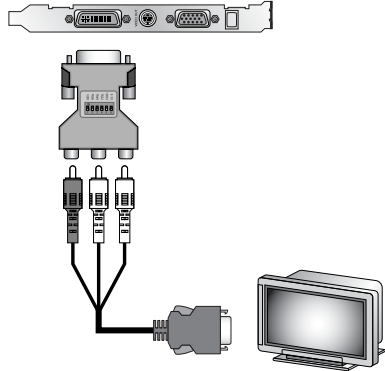
D1フォーマット使用時には解像度のカスタム設定をおこなうことはできません。

D2 フォーマット対応のテレビに接続する場合

D2 フォーマットに対応したテレビに接続する場合は、以下の設定を行ってください。

1

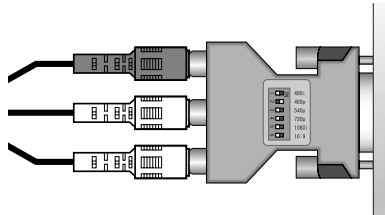
MTVGA 背面 DVI 端子と D2 フォーマットに対応したテレビを接続してください。



2

DVI-コンポーネント形状変換アダプタのディップスイッチの『480p』を ON にしてください。

※ 右図にてスイッチ部の白色がスイッチのつまみとなります。



3

解像度を 640x432 に設定します。p. 35～を参照して解像度の設定を行ってください。



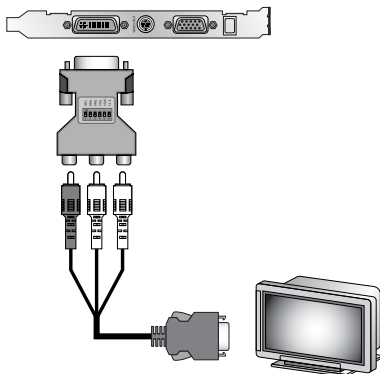
D2 フォーマット使用時には解像度のカスタム設定をおこなうことはできません。

D3 フォーマット対応のテレビに接続する場合

D3 フォーマットに対応したテレビに接続する場合は、以下の設定を行ってください。

1

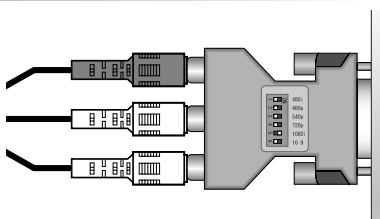
MTVGA 背面 DVI 端子と D3 フォーマットに対応したテレビを接続してください。



2

DVI-コンポーネント形状変換アダプタのディップスイッチの『1080i』を ON にしてください。

※ 右図にてスイッチ部の白色がスイッチのつまみとなります。



3

解像度を 1280x960 に設定します。p. 35 ～を参照して解像度の設定を行ってください。

4

画面全体が表示されない場合は、手順3を行い解像度を 1712x960 に設定してください。

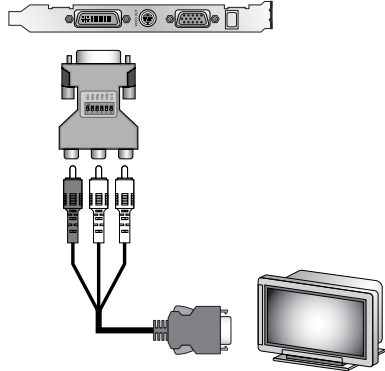
※ 解像度のカスタム設定を行うと、ご使用のテレビに合わせて画像解像度を設定することができます。

D4 フォーマット対応のテレビに接続する場合

D4 フォーマットに対応したテレビに接続する場合は、以下の設定を行ってください。

1

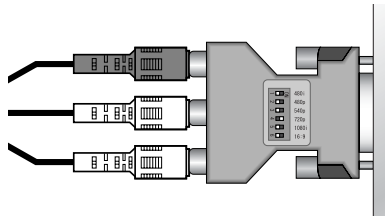
MTVGA 背面 DVI 端子と D4 フォーマットに対応したテレビを接続してください。



2

DVI-コンポーネント形状変換アダプタのディップスイッチの『720p』を ON にしてください。

※ 右図にてスイッチ部の白色がスイッチのつまみとなります。



3

解像度を 1152x648 に設定します。p. 35 ～を参照して解像度の設定を行ってください。

4

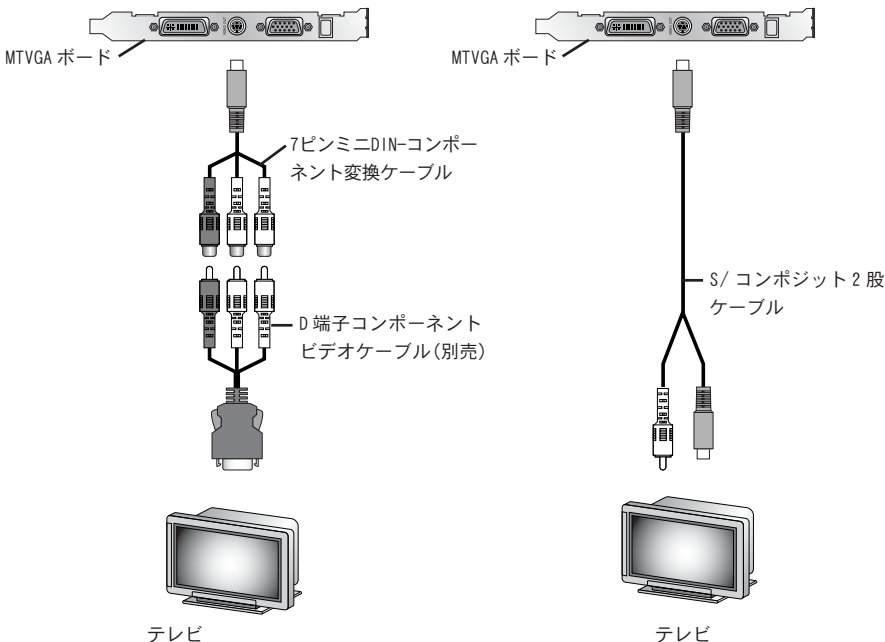
画面全体が表示されない場合は、手順3を行い解像度を 1120x632 に設定してください。

※ 解像度のカスタム設定を行うと、ご使用のテレビに合わせて画像解像度を設定することができます。

MTVGA X800XL とテレビを接続する場合

MTVGA X800XL 背面の端子とテレビを接続する場合は以下の図を参照して接続を行ってください。

- 7ピンミニDIN-コンポーネント変換ケーブル ● コンポジット、もしくはS端子で接続する場合
ブルで接続する場合



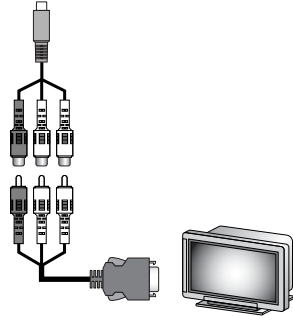
MTVGA シリーズのマルチモニタについてはp. 44を参照してください。

MTVGA X800XLのケーブルを使用してテレビに接続する場合

MTVGA X800XL 同梱の7ピンミニDIN-コンポーネント変換ケーブルを使用してテレビに接続する場合は、以下の設定を行ってください。



MTVGA 背面のSビデオ出力端子とD端子出力に対応したテレビを接続してください。



以下の表を参照して解像度の設定を行います。設定方法についてはp. 35～を参照してください。

	解像度
D1 フォーマット	640x432
D2 フォーマット	640x432
D3 フォーマット	1280x960
D4 フォーマット	1152x648

アンインストール

MTVGAシリーズを使用しなくなった場合、以下の手順でアンインストールを行ってください。

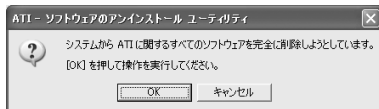


[スタート]メニューから[コントロールパネル]へ進み、[ATI-ソフトウェアのアンインストール ユーティリティ]を選択して[変更と削除]をクリックしてください。

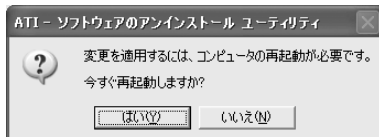
※ Canopus FEATHER、NeroVision Express 2のアンインストールもほぼ同様の手順で行えます。



[OK]をクリックしてください。
→ アンインストールを開始します。



[はい]をクリックしてください。
→ 以上でアンインストールは完了です。



[illegible]

MTVGA シリーズには、MPEG2 や DivX、WMV など、お使いのパソコンの Windows Media Player で再生可能な動画やDVDの再生などが行える『FEATHER2005』が付属しています。『FEATHER2005』はパソコンのメインモニターだけでなく、セカンダリモニター、テレビやハイビジョン対応テレビなどMTVGAの機能をフルに生かして再生できるようチューニングされた専用 FEATHER です。

本ソフトウェアには以下のような 6 種類の動作モードがあり、メニュー画面には各動作を意味するアイコンとして表示されています。

※ 詳細につきましてはCD-ROMに収録されているPDFを参照してください。



Video フォード

パソコンに保存された動画を再生したり、DVDビデオを作成できます。



CD/DVD フォード®

CDあるいはDVDディスクの映像および音楽をパソコン上で再生できます。



Musicフェード

パソコンに保存された音楽を再生したり、オーディオCDを作成できます。



TVボード”

MTVXシリーズを装着したパソコンでテレビ番組を視聴・録画できます。



Photoモード

静止画のスライドショーを実行したり、
BGM付きのアルバムを作成できます。



Network 网络

ネットワーク経由で動画や音楽、写真、テレビを見ることができます。

FEATHER2005 を起動する

『FEATHER2005』を起動します。起動方法は次の2通りがあります。



デスクトップ上のショートカットをダブルクリックしてください。

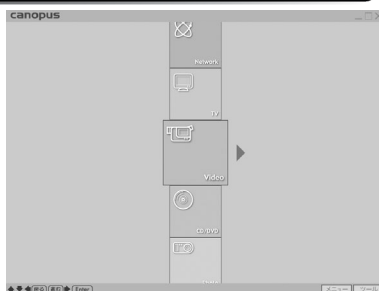


FEATHER

または、[スタート]メニューから[すべてのプログラム]へ進み、[Canopus FEATHER]から[FEATHER]を選択してください。



FEATHER2005 が起動します。



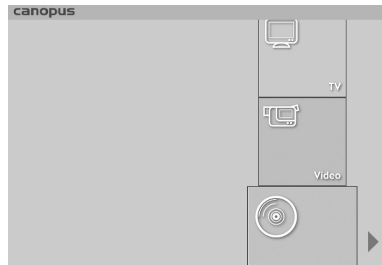
- ・ 別売のリモコン (CRMシリーズ) をご使用の場合は、POWERボタンを押してください。
- ・ 各動作モード画面で画面右下の[メニュー]をクリックすると、メニュー画面に戻ります (CRM2004の場合はL2ボタンを、CRM2005の場合はメニューボタンを押します)。

FEATHER2005 を終了する

『FEATHER2005』を終了します。



FEATHER2005 の画面上で右クリックしてください。



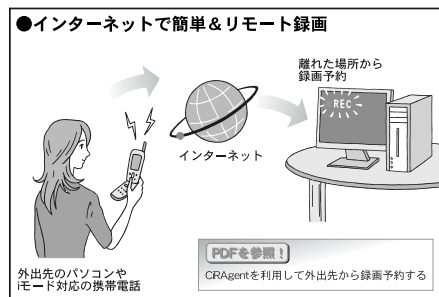
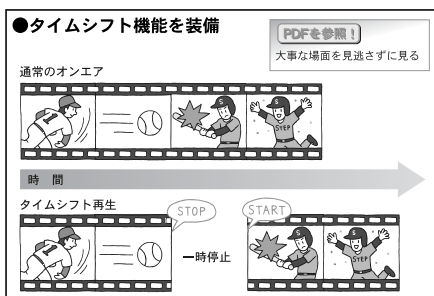
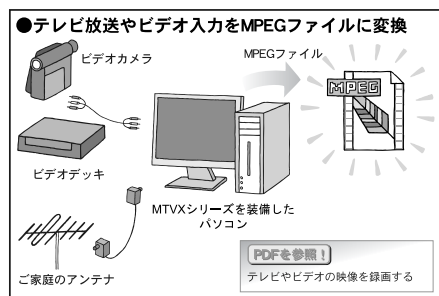
[FEATHER の終了] を選択してください。



- ・別売のリモコン(CRMシリーズ)をご使用の場合は、POWERボタンを押してください。
- ・メニュー画面右上の[×]ボタンをクリックしてもFEATHER2005を終了できます。

▶ 5. MTVX があればこんなことができる! ▶▶

当社製 MTVX シリーズをご購入いただくと以下の操作が可能となります。



■ MTVGA 専用プログレッシブ表示モード

MTVGAと連動して動作可能なMTVGA専用MTVXシリーズドライバを開発。MTVGAでのみ実現可能な新しいプログレッシブ表示モードが使用可能。

▶ 6. NeroVision Express 2の操作方法 ▶▶▶▶

MTVGA シリーズには、「NeroVision Express 2」というソフトウェアが付属しています。「NeroVision Express 2」は以下の4つのソフトウェアで構成されています。

- Nero Cover Designer

CD や DVD などのジャケットやカバーが作成できます。

- Nero Recode

DVD をコピーしたり、DVD を Nero Digital (MPEG-4) 形式に変換できます。

※ DRM (著作権管理) が適用されているファイルは、エンコードできない場合があります。

※ CSS プロテクトのかかった DVD ビデオはご利用になれません

- Nero ShowTime

CD や DVD を再生したり、動画を静止画として保存できます。

- NeroVision Express

ビデオ映像の編集、VCD や SVCD、DVD-Video の書き込みができます。

「NeroVision Express 2」の各ソフトウェアの操作方法については、次のマニュアルを参照してください。

ユーザーズガイド (PDF 形式)

「NeroVision Express 2」のユーザーズガイドは、Windows の[スタート]メニューから、[すべてのプログラム]→[Nero]→[ユーザーズガイド]と進み、ご覧になりたいマニュアルをクリックします。

※ ユーザーズマニュアル (PDF 形式) をご覧になるには「Adobe Reader」が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、ソフトウェアCD内の[Tools]フォルダの[AdobeReader]フォルダから[AdobeRdr60_jpn_full.exe]を実行してください。「Adobe Reader」がインストールされます。

ヘルプ

- Nero Cover Designer

「Nero Cover Designer」の操作画面から、メニューバーの[ヘルプトピック]をクリックします。

- Nero Recode

Windows の[マイコンピュータ]→[ローカルディスク (C:)]→[Program Files]→[Ahead]→[Nero Recode]へ進み、[Nero Recode_jpn_chm]をダブルクリックします。

- NeroVision Express

「NeroVision Express」の操作画面左下にある[?]をクリックし、表示されるメニューから[NeroVision Express ヘルプ]をクリックします。



ソフトウェアがアクティブな状態でキーボードの[F1]キーを押すと、それぞれのヘルプが表示されます (Nero Recodeを除く)。

▶7. MTVGA シリーズとテレビを接続する▶▶

MTVGA シリーズボードのビデオ出力端子とテレビを接続すると、FEATHER2005 で再生された映像やコンピュータの映像をテレビに出力することができます。

マルチモニタ設定を行う

MTVGA とテレビを接続し、マルチモニタ出力を行う手順を例に説明します。

1

デスクトップ上で右クリックし、[メニュー]から[プロパティ]を選択してください。

→ [画面のプロパティ]ダイアログが表示されます。

アイコンの整列(O) ▶
最新の情報に更新(E)

貼り付け(P)
ショートカットの貼り付け(S)

新規作成(W) ▶

プロパティ(R)

2

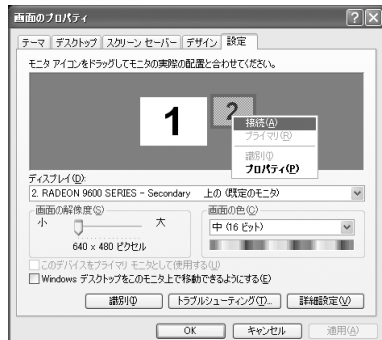
[設定]タブをクリックしてください。



3

非アクティブのモニタアイコンを右クリックし、メニューから[接続]を選択して[適用]ボタンをクリックしてください。

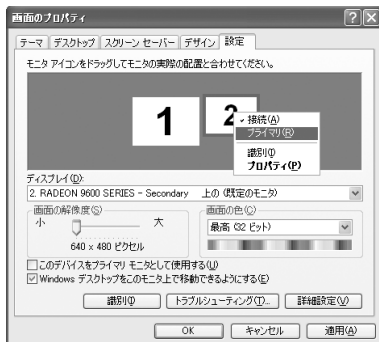
→ 選択したモニタがセカンダリディスプレイに設定されます。



4

プライマリディスプレイに設定したい場合はメニューから[プライマリ]を選択して[適用]ボタンをクリックして[OK]をクリックしてください。

→ 選択したモニタがプライマリディスプレイに設定されます。



画面の解像度を選択する

表示する解像度を選択します。

1

デスクトップ上で右クリックし、[メニュー]から[プロパティ]を選択してください。

→ [画面のプロパティ]ダイアログが表示されます。

アイコンの整列(Q) ▶
最新の情報に更新(E)

貼り付け(P)
ショートカットの貼り付け(S)

新規作成(W) ▶

プロパティ(R)

2

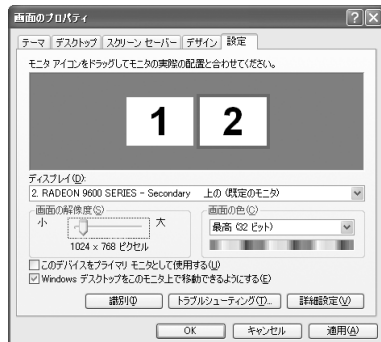
[設定]タブをクリックしてください。



3

[画面の解像度]のスライダを移動して設定したい解像度に設定し、[適用]ボタンをクリックして[OK]をクリックしてください。

→ ここでは1024x768を選択しています。



D端子とS端子/コンボジット端子を同時接続した場合は、排他使用となりますのでいずれかひとつの端子を接続するようにしてください。

解像度をカスタム設定しテレビに表示する。

D端子を使用する場合、以下の設定を行うと、テレビのD端子から入力された映像のフォーマットをカスタマイズしてプライマリ表示することができます。ここでは解像度1280x720から解像度1104x660を作成してカスタマイズ表示する手順を説明します。



D端子を使用する場合はあらかじめ「DVI - コンポーネント形状変換アダプタ」の「ディップスイッチ設定」を行う必要があります (p. 21参照)。



MTVGA X800XLで解像度をカスタム設定をする場合は、ATI. Technologies Inc. のダウンロードページ (<http://www.ati.com/support/driver.html>) から最新のドライバをダウンロードしてください。最新のドライバをご使用のPCにインストールすることで、MTVGA X800XLでは今まで使用できなかった解像度のカスタム設定が行えるようになります。



デスクトップ上で右クリックし、[メニュー]から[プロパティ]を選択してください。

→ [画面のプロパティ]ダイアログが表示されます。

アイコンの整列①
最新の情報に更新(E) ▶

貼り付け(P)
ショートカットの貼り付け(S)

新規作成(N) ▶

プロパティ(R)



[設定]タブをクリックしてください。



3

非アクティブのモニタアイコンを右クリックし、メニューから[接続]を選択して[適用]ボタンをクリックしてください。

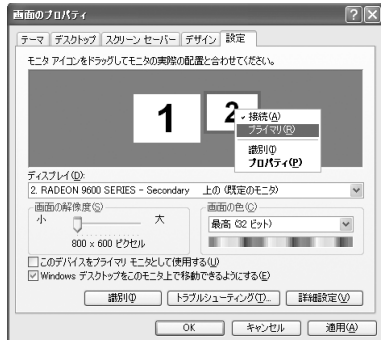
→ 選択したモニタがセカンダリディスプレイに設定されます。



4

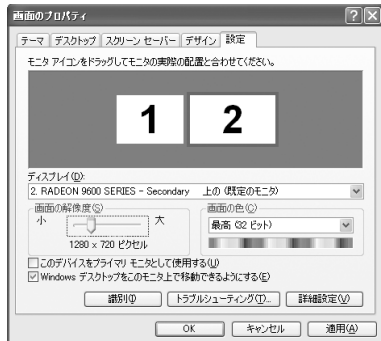
プライマリディスプレイに設定したい場合はメニューから[プライマリ]を選択して[適用]ボタンをクリックしてください。

→ 選択したモニタがプライマリディスプレイに設定されます。



5

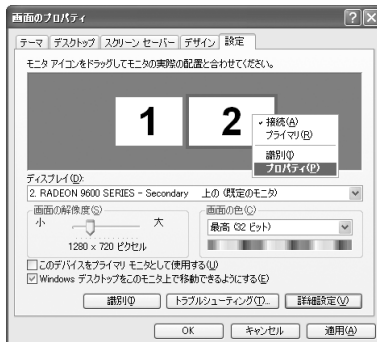
モニタアイコンが選択された状態で表示したい解像度を[画面の解像度]欄を[1280x720 ピクセル]に設定してください。



6

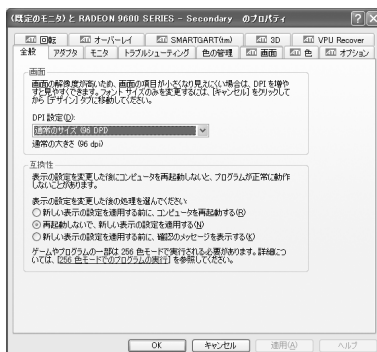
モニタアイコン上で右クリックメニューから[プロパティ]を選択してください。

→ [(既存のモニタ)とグラフィックボードのプロパティ]ダイアログが表示されます。



7

[画面]タブをクリックしてください。



8

[D 端子]ボタンをクリックしてください。

→ [D 端子のプロパティ]ダイアログが表示されます。



9

[詳細]タブをクリックしてください。

ワイドビジョンに対応したモード時に
チェックが付けられる

DVI-コンポーネント形状変換アダプタ
で設定された出力フォーマット

現在設定されているフォーマットを最
適化する(選択できるようになる)



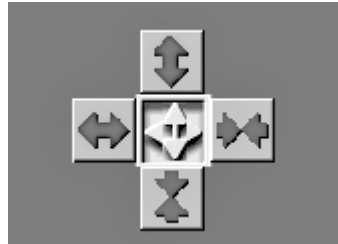
10

表示したい高さと幅を設定します。
[追加]をクリックしてください。



11

テレビ画面上の左右上下のカーソル
を使用して表示したいサイズに調整
します。調整後にキーボードの
[ENTER]キーを押してください。



12

カスタマイズしたフォーマットが表示されます。[形式]タブをクリックしてください。



13

[カスタム設定を使用]と[中央のタイミングサポート]にチェックを付け、[適用]をクリックしてから[OK]をクリックしてください。

→ [D端子のプロパティ]ダイアログを閉じます。

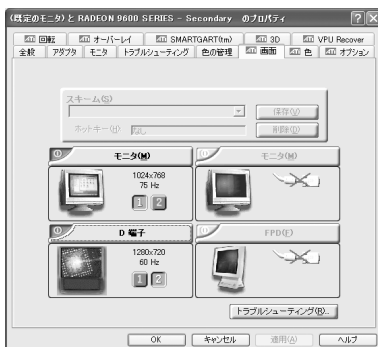
※ 右の図ではドングル(DVI-コンポーネント形状変換アダプタ)の設定で720pを選択しています。



14

[適用]をクリックしてから[OK]をクリックしてください。

→ [(既存のモニター)とグラフィックボードのプロパティ]ダイアログを閉じます。

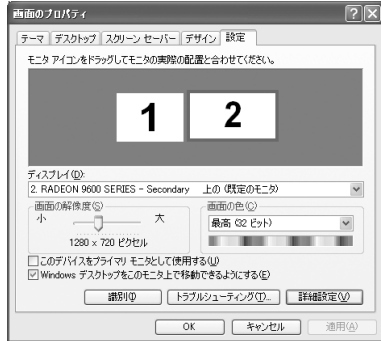


ご使用の環境により、手順14で[適用]もしくは[OK]をクリックすると、カスタマイズされたフォーマットの表示に切り替わる場合があります。表示が切り替わらない場合は、引き続き手順15以降を行ってください。

15

[適用]をクリックしてから[OK]をクリックしてください。

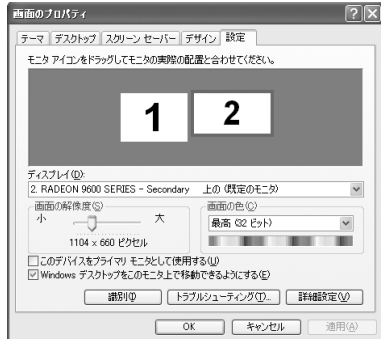
→ [画面のプロパティ]ダイアログを閉じます。



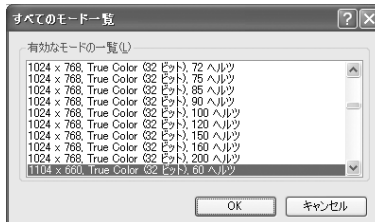
16

再度、手順1、2を行って[画面のプロパティ]ダイアログの[設定]タブを表示してください。画像フォーマットを変更するモニタアイコンを選択し[画面の解像度]スライダを移動してカスタマイズしたフォーマットに設定し[適用]、[OK]をクリックしてください。

→ カスタマイズしたフォーマットがテレビに表示されます。



手順14の[(既存のモニタ)とグラフィックボードのプロパティ]ダイアログで[アダプタ]タブをクリックして表示される画面から[モード一覧]をクリックすると、カスタマイズしたフォーマットが登録されているかを確認することができます(D1、D2端子使用時は以下の画面から設定してください)。



▶ 8. MTVGA シリーズのマルチモニタについて ▶▶▶▶

ここでは MTVGA シリーズのマルチモニタについて説明します。

2 台のモニタを接続する

2 台のモニタを使用する方法は以下の 2 通りがあります。

■ クローンモード

1 台目のモニタと同じ映像が 2 台目のモニタに表示されます。

オーバーレイの表示モードがシアターモードに設定されているとオーバーレイ画面が 2 台目のモニタにフルスクリーンで表示されます(「FEATHER2005」のフルスクリーンモードのメニューは 2 台目には表示されません)。

FEATHER2005 を使用するとき、後述のマルチモニタモードをお勧めします。

※ クローンモードは仕様上様々な制限があり、FEATHER2005 と組み合わせての使用はお勧めできません。本モードに設定された場合、FEATHER2005 の動作に関する保証はいたしかねますのであらかじめ承知の上、お使いください。

■ マルチモニタモード

「FEATHER2005」はこのモードで使用されることを前提にチューニングされています。

Windows のマルチモニタ機能で 2 つのモニタで連続した Windows 画面を表示できます。どちらのモニタにもオーバーレイ画面を表示できますが、両方同時に表示することはできません。1 台目のモニタを Windows のデスクトップとして、2 台目のモニタを FEATHER のフルスクリーンモード(ウィンドウモードも可)等で使用できます(FEATHER を起動していない状態では 2 台目は Windows のデスクトップとして使用できます)。

「FEATHER2005」のオーバーレイ画面をウィンドウ状態にすれば、モニタを移動できます。

アンダースキャンとオーバースキャン

■ アンダースキャン

パソコンのモニタのようにモニタの表示エリア内に表示すべき画面がすべて収まる表示方式です。

■ オーバースキャン

テレビやハイビジョンでは表示する画面の周囲の部分は表示エリアの外にはみ出して全体を表示することができません。これはテレビ側の仕様です。この方式では通常の Windows 画面を表示するとスタートボタンやタスクバー、最大化

したウィンドウの枠やバーが表示できません。一方テレビ番組を録画したファイル等を再生する場合はテレビで放送を見た時と同じ状態で表示できます。

テレビ出力の設定

テレビ出力はアンダースキャンとオーバースキャンが設定できます。初期状態はアンダースキャンに設定されています。アンダースキャンの時はテレビに画面全体が表示されるように元の画面を縮小し、周囲を黒枠で埋めて表示します。

D 端子 (HDTV) 出力の設定

D端子出力はテレビ出力のように全体を表示するために画面を縮小する機能はありません。そのため例えば D3 (1920×1080) の HDTV に表示する画面の大きさは 1920×1080 でなければなりません、そのままだと周囲の 5～10% が画面からはみ出してしまいます。

これを解決するには、例えば D3 (1920×1080) の場合は画面の解像度を 5～10% 小さくして (1776×1000 等)、それを 1920×1080 の上に貼り付けて表示することで画面全体を表示することができます。

D端子のプロパティで最適化されたフォーマットにチェックを入れると Windows の画面の解像度が 5～10% 小さくなり、ほぼ画面全体を表示できます。ただし、HDTV によって見える部分の大きさが異なるため、これでも画面全体を表示できないことがあります。HDTV が D3/D4 であれば、このような場合に詳細設定で任意の解像度 (1712×960 等) を追加することができます。

以下は画面全体を表示するための HDTV の解像度に対する低めの解像度の一例です。実際に表示される内容は HDTV に依存します。

	フル	最適化	カスタム
4:3	640×480	640×432	----
4:3	704×480	640×432	----
4:3	720×480	640×432	----
16:9	856×480	640×432	----
4:3	960×720	864×648	----
16:9	1280×720	1152×648	1120×632 1104×620
4:3	1440×1080		1280×960 1232×924
16:9	1920×1080	1776×1000	1712×960 1648×924

※ 1440×1080 は 1920×1080 のカスタム設定です。

D 端子出力を主に「FEATHER2005」のフルスクリーンモードで使用される場合は、メニュー表示エリアを 90% に設定しておけばフルサイズの解像度のままでも、メニューやスクロールバーはみ出すことはありません。

▶9. ATI のユーティリティについて▶▶▶

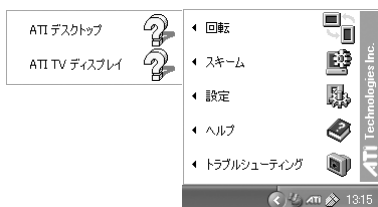
ここでは画面の設定を簡単に行うATI ユーティリティについて説明します。

ATI のユーティリティを起動する



タスクバーの[ATI]アイコンを右クリックし、設定したい項目を選択してください。

※ インストール時に[カスタム:上級者およびシステム管理者向けです]を選択し[HYDRAVISION Complete Edition]をインストールしていると[HYDRAVISION Complete Edition]が表示されます。



■ 設定メニュー



① [回転]

画面表示を[標準(0度)]、[右90度]、[180度]、[左90度]から選択します。

② [スキーム]

[標準のシングル画面]、[ディスプレイ間での切り替え]から選択します。

③ [設定]

[ATIアイコンの設定]、[ATIのディスプレイ設定]、[デバイス設定]を行います。

④ [ヘルプ]

[ATI デスクトップ]、[ATI TVディスプレイ]のヘルプを表示します。

⑤ [トラブルシューティング]

[ATI デスクトップ]、[ATI TVディスプレイ]のトラブルシューティングを表示します。

